

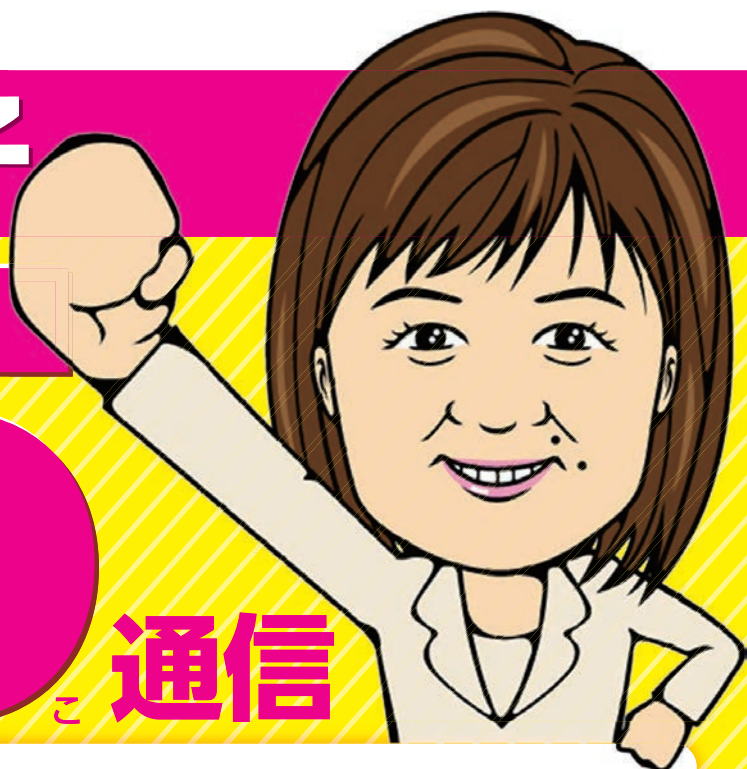
埼玉県議会議員 江原くみ子

県議会 レポート

2016年 春

935

通信



皆さまこんにちは!江原くみ子です。昨年4月の統一地方選挙にて初当選をさせて頂いてから、早いもので1年が経過いたしました。この間、夏の知事選挙をはさみ、埼玉県議会は4回開催されました。議会では、希望通り環境農林委員会に所属し、特別委員会は、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員、図書室委員、そして予算特別委員会委員として活動してまいりました。当たり前のことですが、様々な場面で市議会と県議会の違いを議員として感じ、また、新たな経験も多くさせて頂いた充実した1年であったと思います。

しかしながら地元を回ると、皆さまにとって県政がまだまだ身近に感じていただけない状況に、少し歯がゆさを感じつつ、議会毎の報告とは異なる今回の『935通信』を作成いたしました。一部ではありますが、1年間の活動を報告させていただきます。

「女性の意見を県政へ!」という初心と意気込みはそのままに、県議会へ皆さまのご意見や提案をしっかりと発信していきます。今後も地道に活動して参ります。引き続き、ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

埼玉県議会議員 江原くみ子

江原くみ子プロフィール

- 1970年11月15日生 A型 さそり座
- ◆3人兄妹の末っ子。埼玉県深谷市生まれ。
- ◆白百合幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、深谷市立桜ヶ丘小学校、深谷市立南中学校、埼玉県立熊谷女子高等学校卒業。明治大学短期大学部法律科卒業。埼玉県信用金庫で6年間勤務の後、環境問題に興味を持ち、大学入学のため退職、大阪外国語大学外国語学部(開発・環境専攻・ドイツ語専攻語)へ。ケルン大学(環境先進国であるドイツ)へ留学、法政大学大学院社会科学研究科政策科学専攻(環境コース)修了。奨学金返済中!
- ◆2004年より衆議院議員秘書
- ◆2007年～深谷市議会議員当選
市民環境産業委員長 歴任
- ◆2011年 埼玉県議会議員選挙出馬
11,737票頂くも、232票差で次点
- ◆2015年～ 埼玉県議会議員当選
環境農林委員会、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会委員、他

県議会は県民のために!

予算特別委員会の 審議方法が大幅に変更!

自民党以外の4会派からの抗議があったにもかかわらず、予算特別委員会要綱は改正。今までの予算委員会、自由闊達に知事と議論のできる場でした。もちろん部局別に詳細に審議することも必要ですが、やはり各部局横断的な事業など、多角的判断の必要なものについては知事判断が必要だと考えます。予算委員である私も知事と直接議論ができる!と期待していましたが、知事答弁は最終日の総括質疑だけになり、残念に思っています。

東京新聞



毎日新聞



埼玉新聞

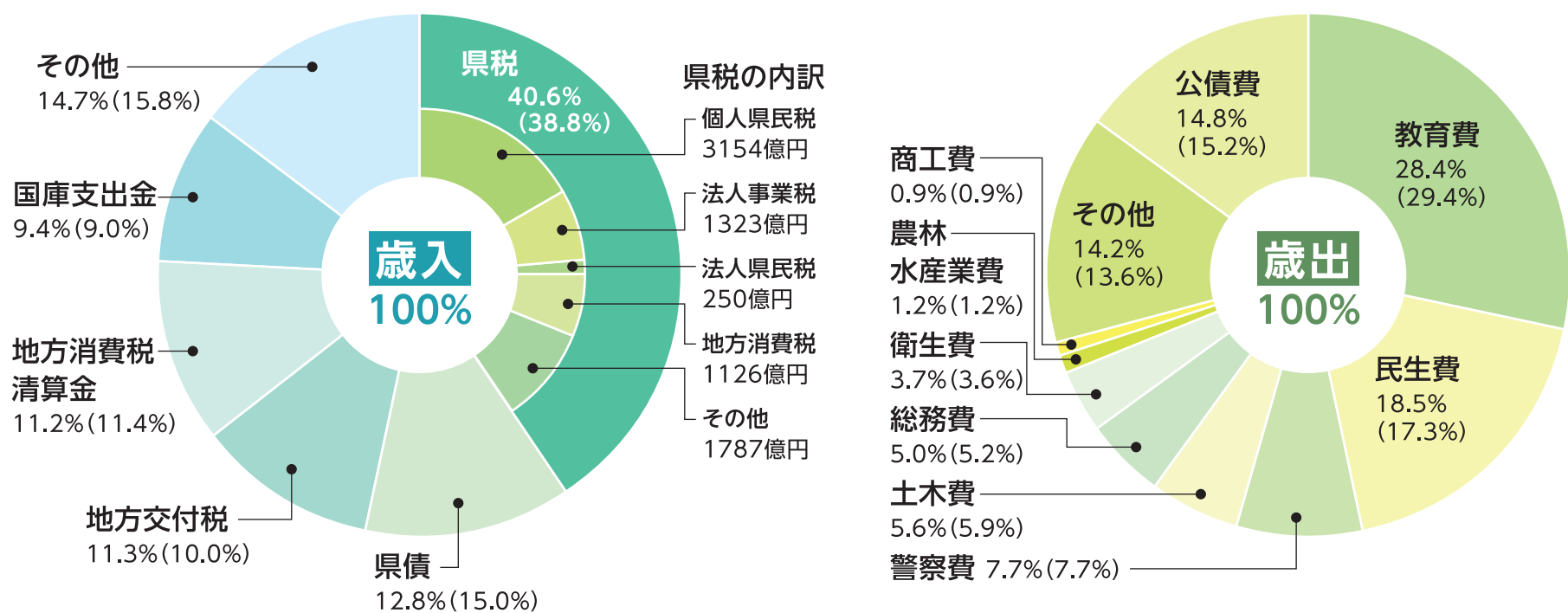
環境農林委員会では 補助金執行停止の動議が!

賛成多数で議決後、自民党委員から「埼玉スマートアグリ推進事業に係る補助金支出の執行停止を求める附帯決議」の動議が提出。本事業は「国の攻めの農業」の代表。イオンアグリは公募で選定され、国庫10億、イオン9億、計約19億の事業です。これにより、トマト農場建設中止となれば、国との信頼関係は崩れ、交付金返還や損害賠償請求なども懸念されます。誰のための県議会なのか? 県議会は県民のためにあるべきです。今後もしっかりと議論して参ります。

平成28年度埼玉県一般会計予算案

上田県政13年目！最大規模の1兆8,805億円（2.8%増）

一般会計歳入歳出款別構成比

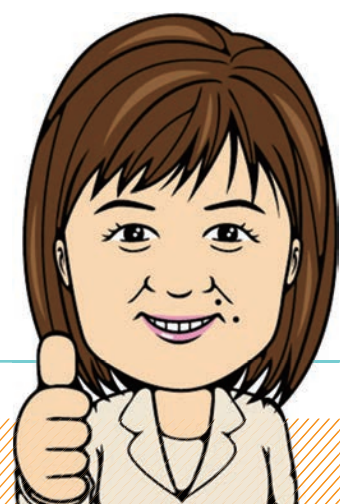


()内は前年度、1億円未満四捨五入

【歳入の概要】

歳入の柱となる県税収入は、税制改正の影響や緩やかな景気回復基調を受け法人事業税に増収を見込む他、個人県民税などにも増収を見込み、前年度比540億円(7.6%)増の7,640億円を計上。地方交付税は、地方財政対策により地方の一般財源の質の改善が図られたことから、前年度比304億円(16.6%)増の2,133億円を計上しています。

県の借金に当たる県債発行額は前年度比349億円(12.7%)減の2,404億円に抑えました。そのうち地方交付税の不足分を国に代わって県が発行する臨時財政対策費が1,276億円と県債の5割以上を占めています。県債残高は年々増えているものの、臨時財政対策費などを除く県で発行をコントロールできる県債の残高は、平成14年度をピークに減っています。



2025年問題への挑戦元年！

「稼ぐ力」の強化

- ① 先端産業創造プロジェクトの推進
- ② 県内・中小企業の競争力強化
- ③ 儲かる農林業の推進

シニア革命

- ① アクティブシニアの活躍支援
- ② 健康長寿埼玉プロジェクトの推進
- ③ 地域包括ケアシステムの確立

「人財」の開発

- ① 実効性のある少子化対策
- ② 埼玉ウーマノミクスプロジェクトの更なる推進
- ③ 多彩な未来の人材育成

5か年計画の具現化

- ① 埼玉エコタウンプロジェクトの推進
- ② ヒートアイランド対策の推進
- ③ 医療体制の充実
- ④ 激甚化する災害への備え
- ⑤ ラグビワールドカップ2019日本大会、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会受け入れ体制の推進

各種事業など

◎ 寄居PAスマートIC 西地区産業団地整備事業

6億894万円

約3年かけ整備予定。立地ポテンシャルを活かした県北地域の経済活性化を図るため、総事業費約18億の産業団地が整備されます。

◎ 農林公園(深谷市)の施設修繕

3,862万円

農林公園の老朽化したトイレを洋式化・乾式化し、節水を進めることで維持管理費の低減が図られます。

◎ 深谷商業高校アスベスト対策

1,298万円

アスベストを含有する煙突用断熱材の除去工事を実施します。

◎ 健康マイレージ制度新設

1億85万円

健康づくり事業などへの参加でポイントをため、特典が受けられる仕組みを構築。

◎ ヒートアイランド対策の整備

5億8,580万円

小学校の校庭芝生化や、大規模駐車場の緑化を重点支援。

◎ 保育士の人材確保

19億8,012万円

保育士資格取得を目指す学生への修学資金や、潜在保育士への就職準備費貸付。

一般質問



平成27年 10月2日 県議会傍聴 935応援ツアーを開催!

県議会議員に当選する前も後も、皆さんから「県議会ってどこにあるの?」「行ったことないな」などの声を多くいただいております。県議会の傍聴や議事堂内をご案内するツアーを開催いたしました。県政が身近になるように、今後も計画しておりますので、是非県議会にいらしてください!お待ちしております♪



初の一般質問は10月2日。「女性の意見を県政へ!」ということで、女性活躍支援法はじめ、DV被害者の自立支援、女性消防団員の加入促進、多子世帯への子育て支援策、などの女性に係る問題を中心に、動物愛護や、地元医師確保策や道路問題について8項目に渡り、質問しました。以下抜粋にてご紹介します。

1. 県内の女性消防団員の増員を!

Q 自分自身消防団員としての活動を始めて7年になりますが、「女性消防団員」の知名度や具体的な活動はまだまだ知られていない現状がある。もちろん消火活動も重要ですが、火災予防啓発やAEDを含む応急手当講習会など、求められる活動も多様化している。特に女性は、地域コミュニティとの結びつきが強く、色々な意味でソフトな印象を与える女性消防団員を増やしていくことは重要と考える。女性消防団がない自治体もあると聞いているが見解を伺う。

A 県内女性消防団が誕生したのは1989年11月1日。四半世紀が経過し、本年11月1日を「女性消防団員の日」とすることが宣言された。具体的な計画としては、2017年度末までに、女性消防団を200名増員し、709名にする考えである。また、県内18か所にはまだ「女性消防団」がないため、条例改正を含め、働きかけを強めていく。

2. 恒常的な保育支援が必要!

Q 統計的な数字では少子化が言われ、一人っ子も多く見受けられるが、私の友人や同世代では双子に恵まれ、お子さんが3人以上の家庭も意外に多い印象もある。多子世帯に対する支援を積極的に進める必要があると考える。また、本年から、保育所等に入所する第3子以降の児童の保育料助成が始まった。財源は国であるが、このような事業は短期的でなく恒常的に行うべきものとする。また、対象児童の年齢を段階的に拡大する必要があると考える。

A 多子世帯の子育てや教育への経済的負担は大きな壁であると認識している。本制度は国の地方創生交付金を活用しているが、県としては国の財源に左右されることなく、保育料軽減事業が継続できるよう財源確保に努めていく。無償化の対象範囲についても、市町村の意見を踏まえながら検討していく。

3. ゆるキャラの応援&支援は集中と選択!

Q 県の働きかけによって生まれた「ご当地キャラ」の盛り上がりがすごい。当初マスコットの役割だったが、今や地域の絆や経済的波及効果は顕著である。地元には「ミムリン」「乙姫ちゃん」「フカニャン」などもいるが、県内では「ふっかちゃん」が大人気。その経済効果は、ゆるキャラグランプリ4位の時7022万円、3位の時が14億4千万円、昨年2位になると31億!と推移。他県ではゆるキャラを1つに絞って上位を狙う戦略を展開している。本県も、戦略的な取り組みが必要だと考えるが。

A 埼玉県では、観光や物産を幅広くPRするため「ゆる玉応援団」を結成している。その数は111キャラクター。ゆるキャラの人気を活用することは有効であるとする。HP公式観光サイト上の「ちょこ旅埼玉」の中に特設コーナーを開設した。「ゆる玉応援団」全体の盛り上げを応援していく。

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算案を集中的に審査するため、2月19日から3月25日までの会期日程のうち、3月9日から3月22日まで行われました。



環境部、農林部の質疑に登壇

一覧表のように、予算特別委員会では部門別に午前、午後8日間に渡り審議されました。また、今回から審議方法が大きく変わった為、部局当たりの合計質疑時間は150分。各会派ごとの質疑時間が決められ、民主党・無所属の会の持ち時間は一部局24分でした。江原くみ子は、3

月11日の午前と午後に環境部、農林部について質疑し、最終日には賛成の立場で討論を行いました。

■ 予算特別委員会 審査日程

日	項目	午前	午後
1	【部局別質疑①】 3/9(水)10時開会	全体説明	企画財政部、会計管理者、 監査委員、選挙管理委員会
2	【部局別質疑②】 3月10日(木)9時30分開会	総務部、人事委員会、など	県民生活部、危機管理防災部
3	【部局別質疑③】 3月11日(金)9時30分開会	環境部	農林部、内水面漁場管理委員会
4	【部局別質疑④】 3月14日(月)9時30分開会	産業労働部、労働委員会	福祉部
5	【部局別質疑⑤】 3月15日(火)9時30分開会	都市整備部	保健医療部
6	【部局別質疑⑥】 3月16日(水)9時30分開会	県土整備部、収用委員会	教育委員会
7	【部局別質疑⑦】 3月17日(木)9時30分開会	公安委員会	企業局、病院局、下水道局
8	【総括質疑】【討論・採決】 3月22日(火)9時30分開会	総括質疑	討論、採決

◎農林部での質問項目(一問一答形式)の要約

実際のやり取りは、県議会HPの録画中継からもご覧になれます。

- Q** 農業女子ビジネススクールの募集はどのようにおこなうのか?
- Q** どのくらい集まることを想定しているのかわからないが、人数制限はあるのか?
- Q** 30代40代の意欲を持った女性農業者が対象だが、その理由は?
- Q** 年齢を条件に絞り込むことは必要か? 20代でも、50代でもよいのではないか?
- Q** 女性の視点を活かした商品開発を目指すとしているが、具体的にどのような支援を行うのか?
- Q** 予算は10,470千円だが、具体的にはどれだけのグループに配分されるのか?
- Q** 農業の6次産業化だが、農作物は埼玉農産物ブランド推進品目を使うのか?
- Q** 国は6次産業化を推進しているが、簡単に成功するものではない。であるからこそ、集中的に補助金を出すべきでは?
- Q** 現段階でも全国には6次産業化で失敗している例が山ほどある。成功例ではなく、むしろ失敗例を研究すべきでは?

◎準備していた内容(概要)

- ▶ ヒートアイランド対策を推進していく中で、今回、特養への二重窓化の補助金4か所900万円について、なぜ特養なのか。また、二重窓の効果、事業の今後の展開、選定方法や、選定方法の基準、などについて
- ▶ ラグビーワールドカップ試合会場である暑さ対策、ウェルカム並木、樹種の選定、園路への遮熱性舗装についての違い、ラグビーワールドカップを本県花卉振興につなげる取り組みなどについて
- ▶ 川の国検定、川の国アドバイザー、環境アドバイザー、環境アシスタント、環境学習応援隊、など環境教育全般に渡る内容についてと、その有機的な結び付きを考えるべき
- ▶ 水素エネルギー推進について
- ▶ 畜産振興について、なぜ豚凍結人工授精技術を活用するのか、他県での取り組みは、夏季の受胎率向上により、生産性がどの程度上がるのか、本サービスは手数料は取るのか、などについて

江原くみ子 活動報告

委員会・特別委員会・議員連盟視察など



● 農業の6次産業化の
取り組みについて
【H27.11.9、10】

道の駅うつのみやろまんちっく村の視察を行いました。地域社会への貢献を経営方針とし、道の駅を地域6次産業化創造拠点としているところが先進的。地域農業への付加価値を生み出す様々な取り組みを学ばせていただきました。ちなみに、平成28年度予算では、6次産業化を目指す、農業版ウーマノミクス事業について質疑しました。



● 環境農林委員会
【H27.8.25～27】

環境農林委員会では、本県における再生可能エネルギーの普及にかかわる施策の参考のため、風力発電、太陽光発電、トリジェネレーションを用いた花卉生産施設、原子燃料リサイクル関連施設など新エネルギー施設が集積している、青森県六ヶ所村の次世代エネルギーパークに伺いました。



● 様々なイベントにも出席。日本全国から応募のある「渋沢栄一賞」「渋沢栄一ビジネス大賞」を受賞した皆さまと。新しい発想と斬新な様々な取り組みに刺激を受けました。



● ラグビーワールドカップ開催に向け、県議会ラグビー振興議員連盟・サッカー振興議員連盟合同にて、「吹田サッカースタジアム」「東大阪花園ラグビー場」の視察をおこないました。スタジアムや施設の詳細はもとより、市民を巻き込んだ活動や、エネルギーや地域防災拠点などの視点は興味深かった。

江原くみ子 県政事務所開設!

江原くみ子県政事務所を開設いたしました。町政・市政・県政にかかわらず、お気軽にお立ち寄り下さい。

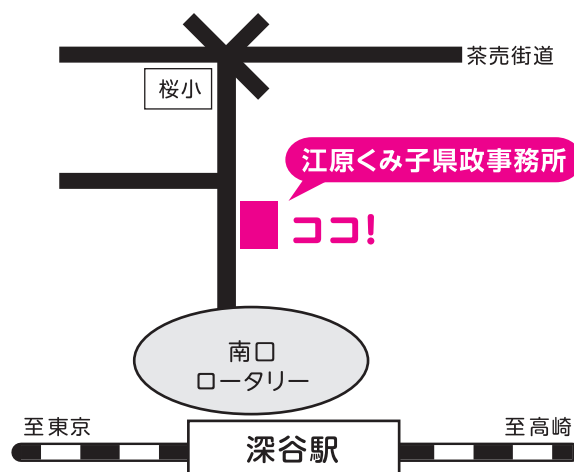
県政についてのご意見・ご要望をお寄せください

935通信 2016年 春

お手数おかけいたしますが、キトリ線で切り取ってファックスでお送りください。 FAX.048-598-6706

(キトリ)

【江原くみ子県政事務所ご案内】



〒366-0824 深谷市西島5丁目8-17
Precious I 101 TEL&FAX.048-598-6706
E-mail: info@eharakumiko.net